

- ④ He wanted too eagerly to pass the examination.

He wanted too eagerly α .
 (S) (V) → 副 (C)

動詞を通過したら、ズバツとOを探します。too eagerlyは副詞なので、目的語にはできません。目的語にできるのは名詞だけです。よって“カタマリ α ”が目的語になり「名詞用法」になるとわかります。

- ⑤ To hear him speak French, you would take him for a Frenchman.

α you would take him for a Frenchman.
 (S) (V) → (C)

“カタマリ α ”は、主語より前にあるので、副詞用法になります。

- ⑥ Considering his ability we have to doubt if he did it by himself.

α we have to doubt if he did it by himself.
 (S) (V) → (C)

“カタマリ α ”は主語より前にあるので、副詞用法(分詞構文)になります。

- ⑦ Written in English, the book is difficult to read.

α the book is difficult to read.
 (S) (V) → (C)

“カタマリ α ”は主語より前にあるので、副詞用法(分詞構文)になります。

Vp.p.には、形容詞用法と副詞用法しかありません。この問題では、writtenの前後に係るべき名詞がないので、副詞用法になると考えることもできます。

- ⑧ The book written in English seems to me a little difficult.

The book α seems to me a little difficult.
 (S) (V) → (C)

SとVの間にはS/O/Cは存在しないので、“カタマリ α ”は名詞用法にできません。

この間には、“カタマリ α ”の前にかかるべき名詞the bookがあるので、形容詞用法になります。

- ⑨ The dog was running around the mannequin wearing a gorgeous fur coat.

The dog was running around the mannequin α .
 (S) (V) → × P <O> S/O/Cできない

The dog was running「犬が走っていた」の時点で文が成立します。すると“カタマリ α ”は、S/O/Cできないので、名詞用法にできません。前にかかるべき名詞(mannequin)があるので、形容詞用法になります。

これで練習問題は終わりです。出来栄えはどうでしたか?準動詞の判別は大切な技術です。

ゆっくりで構わないので正確に理解していきましょう。

次のセクションでは、“カタマリ α ”を使わない実践的判別法を学んでいきましょう。

POINT.4 toV・Vingの2つの仕事 と1・2・3・4チェック

01. toVとVingの2つの仕事

このセクションではtoVとVingについて、さらに深掘りしていきたいと思います。

toV・Vingを通過したら「2つの仕事」を与えます。まず1つ目の仕事として、前のセクションで学んだように、toV・Vingには「名詞用法」「形容詞用法」「副詞用法」のうち、いずれか1つの役割を与えます。用法によって意味が異なるので判別を行うことは重要です。次に与える2つ目の仕事は「動詞の仕事」です。ある意味準動詞と動詞は親戚です。ですから、動詞と同じように、toV・Vingも通過したら“矢印を書いてズバツと目的語(O)”を探します。

●確認!「動詞を通過したら、矢印を書いてズバツとOを探す!」

They met him.

㊦ ㊧→㊨

ここでもう一度、確認させてください。

上記に示したように、動詞を通過したら矢印を書いてズバツと目的語(O)を探します。metから伸びた→(矢印)が、目的語himをとらえています。では、これを踏まえて次の説明を聞いてください。

02. toV・Vingの1・2・3・4 チェック

STEP① S/O/Cチェック

STEP② 用法決定

STEP③ 和訳

STEP④ 矢印を書いて<O>を探す

上記の板書を見てください。

toV・Vingを通過したら、上記4つのSTEPを踏んで「2つの仕事」を忘れずに与えます。まず、STEP①からSTEP③にかけて「1つめの仕事」として“用法の判別”を行います。そして、STEP④で「2つめの仕事」として、toV・Vingの“目的語”を探します。具体的に言うと、STEP①ではtoV・VingがS/O/Cにできるかチェックをします。STEP②では、STEP①の結果にもとづき「用法」を決定します。STEP③では用法を反映して「和訳」をします。最後のSTEP④ではtoV・Vingの「2つめの仕事」として“目的語”を探します。後ろに矢印を書いて目的語(名詞)を探します。

toV・Vingの目的語は、動詞の目的語と区別をするために、カッコをつけて<O>と表記します。もちろん<C>が見つかることも、何も見つからないこともあります。他動詞が多いので、まず<O>を探してください。

03.例文解説

I want to meet him.

この文を使ってtoVとVingの2つの仕事を説明します。

STEP① S/O/Cチェック

I want to meet him.

㊦ ㊧→

私は+望む

主語Iの前に接続詞・関係詞がないので、この文は主節です。板書のように文表記を書きこみ、「私は+望む」と語順に合わせて和訳します。動詞wantを通過したので矢印を書いてズバツと目的語Oを探します。

I want to meet

㊦ ㊧→ ㊨

STEP①

ズバツと目的語Oを探すと目的語の位置にto meetがあるので、to meetの下に㊨と文表記を書きこみます。ここまでがSTEP①です。

STEP② 用法決定

I want to meet

㊦ ㊧→ ㊨

STEP①

STEP② 名詞用法

to meetはwantの目的語になるので、名詞用法になります。これがSTEP②です。STEP②では用法を決定します。こう考えれば“カタマリα”を使わなくても判別できます。

STEP③ 和訳

I want to meet

㊦ ㊧→ ㊨

STEP①

STEP② 名詞用法

STEP③ 「会うことを」

用法が決まれば、意味も決まります。名詞用法は「…すること」と和訳します。これがSTEP③です。文頭から「私は+望む+会うこと ㊨を」と語順にしたがって和訳をします。

左から右へ流れるように読まなくては速読できません。また、リスニングも上達しません。

STEP④ <O>を探せ

I want to meet him
⑤ ④→ ③ STEP④ <O>
STEP①

STEP② 名詞用法
STEP③ 「会うことを」

では、STEP④に進みましょう。

用法と意味を決定したら、2つ目の仕事として「動詞の仕事」をtoVに与えます。“「動詞の仕事」とは、toV・Vingの目的語を探すことです。もちろん、前述したように、いつもtoV・Vingの後ろに目的語があるわけではありませんが、他動詞の可能性が圧倒的に多いので、通過したらまず目的語を探すようにしてください。

用法と意味を決定したら<O>を探せ!これが準動詞の2つ目の仕事です。上記の板書をみてください。to meetの後ろにhimがあるので、これが to meetの目的語になるとわかります。<O>と表記します。

では、和訳を確認しましょう。

文頭から「私は+望む+会うこと ③を+彼 <O> に」という感じで読んでいきます。

●toV・Vingの「2つの仕事」と4つのSTEP

1つ目の仕事(STEP1～STEP3) → 用法と意味を決める
2つ目の仕事(STEP4) → 矢印書いてズバッと<O>を探す

参考

準動詞に関してよくある質問

①「STEP③の文型はSVOOですか」

準動詞の目的語<O>は、大きな文型には含みません。ですからSVOOではなく、SVOの文型になります。

②「wantの目的語にhimをとることはできませんか」

to meetを無視して、himをwantの目的語にすることはできません。準動詞は、無視禁止です。通過したら判別を行い「名詞用法」「形容詞用法」「副詞用法」のうちいずれかの仕事を与えます。

③「toがよく分かりません」

toには、“不定詞のto”と“前置詞のto”があります。不定詞のtoは、後ろに「動詞の原形」が続きます。前置詞のtoは後ろに「名詞」が続きます。

④「早く読めますか?」

SPEC ENGLISHは全く新しい読解法なので、慣れるまではストレスを感じるかもしれません。でも、忘れていけないことは、受験は速さを競う「タイムレース」ではないということ。いかに高得点を取るか、つまり「精度」を競います。確かにフィーリングでも正解することもあります。でも、安定して得点できません。さらに、難度の高い英文は“英語の仕組”そのものを理解していないと太刀打ちできません。

“麦わらの家”と“レンガの家”、どちらを選びますか。もちろん後者ですね。SPEC ENGLISHは、レンガの家を作ります。どんな問題が出題されても崩されない屈強な英語力を作り上げます。読む“速さ”は単語・熟語の語彙力に比例します。だから、徐々に語彙力も鍛えていきます。まずは「精度」をあげていきましょう。

この後は、練習プリントをやりこみ、判別の練習を行いながら、

SPEC ENGLISHの文表記法と語順訳に慣れていきましょう。

付録① 節の種類によって意味が異なる接続詞・関係詞

節の種類によって意味が異なる接続詞・関係詞は重要ポイントです。以下の表を見てそれぞれの「接続詞」「関係詞」が「とることができる節」と「意味」を覚えてください。例えばwhenは名詞節と形容詞節と副詞節がある。Howには名詞節しかないという感じでね。

●節によって意味が異なる接続詞や関係詞

	名詞節(疑問中心)	形容詞節(関係詞)	副詞節
whether	…かどうか	×	たとえ…しても
if	…かどうか	×	もし/たとえ
who	誰が…か	訳さない (関係代名詞)	×
which	どちらが(を)…か	訳さない (関係代名詞)	×
what	何が(を)…か …こと・もの、など	×	<what…比較> などの決まり文句だけ
how	どのように…か(手段) どれ程…か(程度)	×	×
why	なぜ…か	訳さない (関係副詞)	×
when	いつ…か	訳さない (関係副詞)	…の時など
where	どこで…か	訳さない (関係副詞)	…する場所・立場・状況・点 対比/対照
that	…ということ	訳さない (関係代名詞)	so/suchと構文になる 感情・判断の理由
the way	どのように…か = how	×	…のように、など

■覚えるコツ

[働き]

- すべての「疑問詞」には名詞節がある。
- 疑問詞のうち、what/howは原則として名詞節にしかできない。(whatに例外あり)
- 疑問詞のうち、関係代名詞に用いられる語(who, which)には、副詞節はない。
- 関係副詞で用いられる語(where, when, why)のうち、where, whenだけが副詞節になる。言い換えれば、疑問詞で副詞節になるのはwhereとwhenだけ。

[意味]

- 一般的に名詞節は「疑問」の意味になる。例外は what / that / how。
- 原則として、形容詞節(関係代名詞・関係副詞)は和訳しない。
- 副詞節は意味が複数に及ぶ場合が多い。
- thatは、別のセクションで説明します。

付録② 覚えるべきSVOCのCの形

	toV	V(原型不定詞)	Ving	Vp.p.
help	○	○	×	×
have	×	○	○	○
get	○	×	○	○
make	×	○	×	○
let	×	○	×	×
知覚動詞	×	○	○	○

この表を覚えないと SVOC に関する問題を解くことができません。そもそも、SVOCの文型では「原形しかCにできない」と思っていますか。それは間違いです!<toV><Ving><Vp.p>なども<C>にできます。動詞によって可能な<C>の形が決まっているので覚えなくてはなりません。

例えば、「makeはtoV, Vingがとれない」、「letは原型不定詞だけとれる」というように 覚えます。

頻出の「動詞」を表にまとめました。以下に覚えるコツを書いておりますね。表を見ながら覚えてください。

▼<C>に<toV>を取る「動詞」は、「原形不定詞」をとれません。その反対で「原形不定詞」をとるものは<toV>をにとれません。ただし、<help>は例外です。toVと原形不定詞をCにとることができます。

▼<have>は、<toV>だけ<C>にとれません。「原形不定詞」をとるものは、<toV>は取れないという原則が分かっているれば覚えることができます。

▼<get>は、「原形不定詞」だけ<C>にとれません。

▼<make>は、<C>に「原形不定詞」を取ることで有名ですね。ということは<toV>は、取れません。さらに、<Ving>も取れません。この点が<have>と異なる点ですね。

▼<let>は原則として「原形不定詞」のみです。これは覚えやすいですね。

▼「知覚動詞」は<toV>だけ<C>に取れません。原則として「知覚動詞」は、「今・現在」のことを述べるので「未来志向」の<toV>を嫌がるのでしょう。

こんな感じで覚えれば、丸暗記よりは記憶に残ると思います。

付録③ 複合関係詞(複合関係代名詞・複合関係副詞)」

複合関係詞	名詞節 S/O/C になる	副詞節 S/O/Cにならない
関係代名詞系 (名詞が1つ欠けた文が続く) whatever whoever whichever	○ 「何でも・誰でも・ どちらでも(全部系)」 の意味	○ 「たとえ…」の意味 <no matter…>に 書きかえ可
関係副詞系 (完全文が続く) however 形/副 whenever wherever	×	

表を見てください。

▼複合関係詞には、「複合関係代名詞」と「複合関係副詞」があります。

▼複合関係詞には、「関係代名詞系」と「関係副詞系」があります。

▼「関係代名詞系(複合関係代名詞)」には、whoever, whichever, whatever があります。

▼whomeverは、whoeverの変形として見なします。また、whoseeverは存在しません。

▼「関係副詞系(複合関係副詞)」には、however+形容詞 / 副詞, whenever, whereverがあります。

▼howeverは、直後に「形容詞」もしくは「副詞」をおいて用います。ポイントです！

▼残念ながら、whyeverは存在しません。

▼「関係代名詞系」と「関係副詞系」の「共通点」と「異なる点」を把握しなくてはなりません。

▼まず1つ目のポイントを説明します。関係代名詞系は、後ろに「名詞が1つ欠けた文」が続きます。関係副詞系は、後ろに「完全文」が続きます。「関係代名詞」と「関係副詞」の違いと同じですね。

▼<ever>は「副詞」なので「関係詞」の後ろについても性質にあまり影響を与えないでしょう。だから「関係代名詞」と「関係副詞」の性質をそのまま受け継いでいると言えます。

●ポイント①

「関係代名詞系(複合関係代名詞)」と「名詞が1つ欠けた文が続く」
「関係副詞系(複合関係副詞)」→「完全文が続く」

板書は、重要項目なので<チェック保存>して覚えてくださいね。

それでは、次のポイントに行きましょう！

●ポイント② 複合関係詞(複合関係代名詞・複合関係副詞)」

複合関係詞	名詞節 S/O/C になる	副詞節 S/O/Cにならない
関係代名詞系 (名詞が1つ欠けた文が続く) whatever whoever whichever	○ 「何でも・誰でも・ どちらでも(全部系)」 の意味	○ 「たとえ…」の意味 <no matter…>に 書きかえ可
関係副詞系 (完全文が続く) however 形/副 whenever wherever	×	

板書を見てください。

▼2つ目のポイントを説明します。「関係代名詞系(複合関係代名詞)」は「名詞節」にできます。

▼「関係副詞系(複合関係副詞)」は、「名詞節」にできません。節全体で S/O/C にできません。

▼関係詞の文法問題を解く時、意味に頼ることはありませんが、読解では重要な知識です。

▼ここで、意味の違いを説明しておきます。「複合関係代名詞」を「名詞節」で用いると、「何でも・全部系」の意味になります。例えば、whateverは「SV する何でも」、whichever「SV するどちらも」、whoever「SV する人誰でも」と訳します。「君が欲しいもの何でも買ってあげる」って感じです。理解できましたか？

SPECでオリエンテーション後に行われる授業内容一覧

SPECでは、このテキストのようなオリエンテーションを行った後、以下の授業を展開します。自分だけでこれだけの内容を全て勉強することが出来ますか？SPECは、高い指導技術を持った講師が、生徒の理解度をチェックしながら、英語力を引き上げていきます。英語を何とかしたい生徒を、SPECが全力でサポートします。

「品詞の働き」	「複合関係関係詞の判別」
	「等位接続詞」
「不定詞の判別」	「変だな?と思ったら:省略」
「Vingの判別」	「変だな?と思ったら:倒置」
	「助動詞過去と時間のズレ:仮定法」
「名詞に見えるけど名詞ではない」	「文のバランスがくずれた(接続詞that省略の発見方法)」
「1語でとらえてください」	「文のバランスがくずれた(仮定法 if 省略の発見方法)」
	「文のバランスがくずれた(品詞の間違い)」
「受動態」	「文のバランスがくずれた(色々な接続詞)」
「SVOOとSVOCの受動態」	「比較」
「Vedの判別:動詞の過去形と過去分詞の判別」	「比較構文の仕組み(副詞のas)」
「文頭のVing / To Vの判別」	「比較構文の仕組み(notとnot)」
「文頭の接続詞の判別」	「比較構文の仕組み(副詞のthe)」
「節の判別」	「比較構文の仕組み(比較級と最上級)」
「文のバランスが崩れる①:接続詞の省略を見つける」	「疑問代名詞と疑問副詞」
「文のバランスが崩れる②:関係代名詞省略を見つける」	「疑問代名詞と役割のない名詞」
「SVOC(使役)」	「不完全に見える接続詞」
「SVOC(使役以外)」	「疑問詞what / who / which」
「S have O C (Vp.p.)の3つの和訳」	「疑問詞 what / who / which以外」
「SVOC: SVO toV 」	「疑問詞what / which の形容詞用法と役割のない名詞」
「thatの品詞」	
「接続詞thatの判別」	
「名詞+that SV...の判別:副詞節・同格・関係代名詞の判別」	
「副詞節thatの判別と意味」	
「マークする動詞が分かりにくい接続詞・関係詞」	

受験英語専門塾



<https://spec-coach.com>

052-990-2671

〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-1

対面型個別授業だけでなく
リモート個別授業にも対応しています。